

定員 40名様

中部エリア インバウンドセミナー 開催のご案内

2019年RWCを控えた中部地域の旅行消費向上のために

政府は2020年の訪日外国人誘客目標を4000万人と掲げており、ラグビーワールドカップ(RWC)、2020年オリンピック/パラリンピック等を機に当中部エリアにも多くの訪日外国人旅行客が訪れる事が予想されます。外国人旅行者による旅行消費額の拡大に向けた取組で必要なポイントや不足している事を分かり易くお話し致します。小売業界の方々を始め、自治体、観光関連事業者の皆様でインバウンドの取組に関心のある方のご参加をお待ちしております。

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
地域・連携事業担当部長



第1部 14:00～15:00

講演:遊佐 知広氏

2019年RWCから始まる中部エリアのインバウンドマーケットにおける消費拡大
経済波及効果大きいラグビーワールドカップを控えた中部地区で取組んでおきたい受入体制整備は？モノ・コト情報
の訴求のコツや 「支払いのおもてなし」決済対応など、来訪者満足度と消費単価と向上のためのポイントについて。

第2部 15:00～16:00

株式会社 阪急阪神百貨店
営業政策室 インバウンドマーケティング部 シニアマネージャー

講演:叶 陽子氏

他エリアにおける
インバウンド受入れ事例紹介

大阪大学卒業後(株)阪神百貨店入社。阪神百貨店初の海外出店プロジェクトに参加。その後、売場のバイヤー、マネージャー、CS推進室で新しい教育モデルの作成を経て2012年よりインバウンド担当。大阪観光局海外プロモーション事業の一員として、観光客誘致のため、アジア各国を歴訪。また、海外から政府及び民間機関視察団の受入を担当、阪急阪神百貨店インバウンド事業の基礎を作る。インバウンドに関するマーケティング、戦略から具体的な施策の立案・実施を自ら行い、独自のノウハウを構築。担当期間中免税売上を年々拡大させた。また、外国人社員に対して公私にわたる教育、社内外での定期セミナーは大変評価が高い。

第3部 16:00～16:10

JSTO中部支部からの
お役立ちトピックス



2018年7月9日(月) 14:00～16:00(受付開始13:30)

会場:名古屋ダイヤビル 2号館 5階 251会議室

名古屋市東区中村区名駅三丁目16番22号

● 定員:40名様

お申し込みは
Webから

<https://jsto.or.jp/for-stores/seminar-180709/>

お問い合わせ:一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会(JSTO)中部支部
愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート8F(株式会社JTBコミュニケーションデザイン内) TEL.052-414-5003

セミナー主催:一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 中部支部

共催:株式会社JTB、株式会社JTBコミュニケーションデザイン